

施策評価シート(令和2年度実績評価)

施策の基本情報

政策No	0305	政策名	芸術文化の振興	施策主管課	文化財課	課長名	平野 克則
政策の目指す姿	地域の歴史や文化、先人に誇りを持ち、芸術文化に親しんでいます						
施策No	03	施策名	文化財の保護と活用	関係課名	博物館		
施策の目指す姿	文化財を適切に保護・活用しています						

現状と課題

【現状】

- ・市内には、地域の歴史や文化を伝える有形・無形文化財が数多く所在していますが、滅失や廃絶のおそれが生じているものもあります。
- ・市内の文化財に興味・関心のある市民の割合や、市内の文化財等を知っている市民の割合が低い状態です。

【課題】

- ・文化財の保存・保護・伝承のための課題を整理し、所有者や関係者と共に必要な措置を講ずる必要があります。
- ・文化財に対する市民の関心や認知、保護に係る理解が十分に浸透していないことから、向上させる手立てが必要です。

前年度の評価の振り返り

前年度評価時の今後の方向性

- ・「文化財保存活用地域計画」作成に向けた、コミュニティ会議単位の住民参加型ワークショップの開催を通じて、市民に対し文化財への関心と保護の大切さを喚起する。
- ・特別展は、全国的に話題性のある内容や時流を意識したものとし、多くの参観を得る企画とする。
- ・企画展、テーマ展の企画にあたり、調査成果の情報共有や収蔵品の活用のため、博物館と総合文化財センターが情報交換する。
- ・コロナウイルスの感染拡大防止策(検温、手指消毒、マスク着用)を講じ、安心して来館できる環境づくりに努める。

反映状況

- ・「文化財保存活用地域計画」作成に向け、11のコミュニティ会議でワークショップを開催し、文化財の聞き取り調査を行ったほか、保護について話しあった。
- ・特別展は、コロナ感染拡大防止のため開催せず令和3年度へ延期した。なおその期間はテーマ展(花巻人形展)の期間を延長して開催した。
- ・企画展等の企画の際は勿論のこと、日常業務においても博物館と総合文化財センターが調査成果や収蔵品の情報共有を図った。
- ・マスク着用、検温、手指消毒、入館者名の把握、施設消毒等、コロナ対策を徹底し入館者の安全確保を図った。

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組

(1)文化財の保護

- 文化財の調査と指定
  - ・「大迫の建物2件」「旧嶽妙泉寺庫裏、市内遺跡からの出土物の年代測定」「花巻市の道標」を調査
  - 国、県等の有形・無形文化財指定登録に向けた支援
    - ・八木巻神楽の神楽資料の追加県指定(2.11.27)を支援
  - 市が所有する文化財の適切な管理
    - ・旧小原家住宅等の建造物、カズクリ等の天然記念物を保存会に委託し良好に管理
  - 個人等が所有する文化財の適切な保存のための指導と維持補修に対する補助
    - ・丹内山神社一ノ鳥居の修理にあたり補助金を交付
- 埋蔵文化財保護のための適切な周知と指導
  - ・埋文包蔵地内で開発をする際は、事前照会や相談をするよう、花巻の遺跡を知る会や出前講座の際に周知
  - 埋蔵文化財の記録保存及び分布状況調査
    - ・開発により破壊を免れない3遺跡の記録保存調査
  - 総合文化財センターにおける埋蔵文化財の整理、分類、保管
  - ・収蔵保管している石鳥谷地域の2遺跡から出土した遺物を再整理したほか、前年度及び当年度の出土物を調査

(2)文化財の公開と活用

- 各種講座、講演会、セミナー等の開催
  - ・文化財セミナー、体験学習会(バックヤードツアー等)、出前講座の開催
- 説明板や案内板等の改修、設置
  - ・指定文化財の説明板の新設・補修、遺跡を紹介する標柱を設置
- 文化財関連施設での特別展、企画展の充実
  - ・博物館と総合文化財センターにおいて企画展やテーマ展、共同展を開催

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方	成果指標の測定方法	単位	区分	H29	H30	H31	R02	R03	R04
この1年間に博物館等の市内の文化財関連施設を訪れたり、文化財に関する講座・セミナー等に参加した市民の割合	文化財に対する興味・関心や理解をするため、市内にある文化財関連施設を訪れたり、文化財に関する講座等に参加しているか、その状況を示す数値	出典：まちづくり市民アンケート 問：あなたは、この1年間に市内文化財施設(花巻市博物館、石鳥谷歴史民俗資料館、石鳥谷農業伝承館、大迫郷土文化保存伝習館、総合文化財センター)を訪れたり、文化財に関する体験学習、セミナー、講話等に参加したことがありますか？ あると答えた市民の割合	%	目標値				22.00	23.00	24.00
				実績値				9.60		
文化財に関する講座・セミナー等への参加者数	市民が文化財に触れたり、興味・関心を有しているかを示す指標	文化財関連施設(博物館、総合文化財センター)が行う講座やセミナー等への参加者数	人	目標値				4,400.00	4,400.00	4,500.00
				実績値				2,771.00		
				目標値						
				実績値						

### 3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
D	<p>成果指標「文化財関連施設を訪れたり、講座・セミナー等に参加した市民の割合」・・・【達成度c】                      成果指標「文化財に関する講座・セミナー等への参加者数」・・・【達成度c】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財関連施設(博物館、石鳥谷歴史民俗資料館、石鳥谷農業伝承館、総合文化財センター、大迫郷土文化保存伝習館)はコロナ感染拡大防止のため、5月末まで休館したほか、その後の外出自粛もあり、入館者は前年度比48%となった。</li> <li>・講座、セミナー等については、開催の見合わせと参加人数の制限もあり、前年度比51%となった。</li> <li>・以上のことから、2つの成果指標とも目標を達成することが出来なかった。</li> </ul>

### 4 施策を構成する事務事業の検証

市民のニーズや市の関与の必要性が低下した事業、 投入コストの割に成果が低い事業、 施策への貢献度の低い事業はないか
なし
<p>施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか</p> <p>(文化財保護活用事業)もっと多くの市民が、地域の文化財に関心を持ち、保存・保護に協力していくという意識の醸成が必要である。                      (埋蔵文化財保護活用事業)埋蔵文化財は土中にあり、普段目にすることができないため、市民の関心は一般的に薄いのでPRする必要がある。                      (展示活動事業)市民の知的好奇心にこたえる魅力ある展覧会となる企画に努める必要がある。                      (教育普及活動事業)講座や体験学習のメニュー充実にも努める必要がある。</p>
<p>新たに取り組むべき事業はないか</p> <p>(教育普及活動事業)文化財関連施設において、コロナの感染拡大防止策を講じ、来館者が安心して安全に観覧できる環境づくりを進める。</p>

### 5 施策の総合的な評価

課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近にある文化財であっても、市民の興味や関心、認知及び保護に対する理解が十分ではないと感じられるため、向上させる手立てが必要である。</li> <li>・市民が埋蔵文化財に関心を持ち、開発をする際の手続きや保護の方法等について知ってもらう必要がある。</li> <li>・展覧会の企画に当たっては、市民が花巻の歴史や文化に親しみ、知的好奇心に答える魅力ある内容とする必要がある。</li> <li>・講座は時流に答える内容を取り入れ、体験学習会は新規メニューを加えるなど、ま新しさを出す必要がある。</li> </ul>
<p>今後の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財保存活用地域計画の策定に向けたコミュニティ会議単位で実施するワークショップにより、市民に対し文化財への関心と保護の大切さを喚起する。また、文化財の所有者・管理者、民俗芸能の伝承者から保護や伝承にかかる課題と望む支援について聞き取る。</li> <li>・総合文化財センター開館10周年を記念し「花巻の縄文」展を行い、市内の埋蔵文化財を紹介するとともに、保護を呼びかける。</li> <li>・展覧会は、著名な作家の作品を展示する特別展を開催するほか、テーマ展では花巻の歴史や文化に関する展示を行う。</li> <li>・講座は聴講者のニーズに合致した情報を取り入れるように努めるほか、体験学習会のメニューは、他市の館で行っている例も参考に工夫を凝らし飽きのこないメニューとする。</li> <li>・コロナ感染拡大防止策を徹底し、入館者の安全を確保する。</li> </ul>

施策を構成する事務事業一覧

No	事務事業名 事業内容(活動実績)	担当課	施策への貢献度		
			対象	意図	成果
			直結度		
010	<b>文化財保護活用事業費</b> 文化財調査(4件)、市所有文化財の管理(建造物4件、天然記念物2件)、石鳩岡・土沢神楽の映像記録作成、文化財保存活用地域計画策定に係るワークショップ(11地区)、文化財修繕費補助(1件)、説明板設置(7件)	文化財	一致	直結	C
	A				
020	<b>埋蔵文化財保護活用事業費</b> 開発に係る届出(136件)のうち記録保存(3遺跡)、市所有遺跡の管理(2件)、総合文化財センターでの企画展(4回)、講演会(2回)、講座(講座・講演会参加者343人)・体験学習会(参加者318人)、遺跡標柱設置(6件)	文化財	一致	直結	C
	A				
030	<b>展示活動事業費</b> 博物館でのテーマ展(3回)、共同企画展(1回)	博物館	一致	直結	C
	A				
040	<b>教育普及活動事業費</b> 博物館での講座(37回、2060人)、体験学習会(1回、50人)	博物館	一致	直結	C
	A				